

【時空を超える美学】

巨匠ウィリアム・ワイオンが遺した、  
大英帝国の栄華と現代の奇跡



ウィリアム・ワイオン (1795-1851) は、  
近代イギリス貨幣の礎を築いた天才彫刻家。  
彼の繊細な芸術性は、時代を超えて人々を魅了し続けています。

# イギリス領インド 1835年2モハール金貨

大英帝国統治によって発展を遂げたインドの金貨



イギリス領インド 1835年C ウィリアム4世  
2モハール金貨 PF66

【発行枚数】不明 【サイズ】31.00mm/23.32g

【希少性】★★★★★

【ご案内価格】

**15,600,000円** (税込) ウィリアム4世(1765~1837)  
在位: 1830~1837年



## ← イギリス領インド (British India) →

- ◆ 1835年にそれまで東インドを支配していたイギリスの国家事業「イギリス・インド会社」を解散し、国としてインドを支配する事となった。
- ◆ 1877年以降は大英帝国君主がインドの君主も兼ねる事となり、完全にイギリスの支配下に置かれた。
- ◆ 初代のヴィクトリア女王(1837年)から4代目のジョージ6世(1947年)までの各帝国世紀位が描かれるのであった。
- ◆ 帝国の支配下に置かれたインドではそれまでの国貨であったマハラト制度の見直しや女性差別の徹底など、数百年続いた悪しき習慣をたった数十年で近代的な物に変化させたのであった。
- ◆ カースト制度の下では生まれた身分によって就ける職業が決まっていた。また大英帝国統治以前のインド人女性には相続権がなく、結婚の権利も生涯で1度だけであった。



# デザイン解説

イギリス領インド 1835年 2モハール金貨



**表面：** ウィリアム4世の横顔と首元にR.S  
(造幣局局長ロバート・サンダースのイニシャル)

WILLIAM III, KING 1835 (国王ウィリアム4世、1835年)

**裏面：** インドの象徴であるライオンとヤシの木

EAST INDIA COMPANY (東インド会社)

TWO MOHUR (2モハール)

下部にペルシャ文字で2アシュラフィ (2モハール)

# ヴィクトリア女王とゴチッククラウン

世界で最も美しい銀貨として名高い、ゴチッククラウン

「世界で一番美しい銀貨」の復刻版

イギリス 2021年 エリザベス2世  
ゴチッククラウン(Quartered Arms)  
500ポンド 10oz 金貨 裸

【発行枚数】 50枚

【サイズ】 65.00mm/312.60g

【金品位】 99.99%

(参考金価格：約8,231,184円)

【希少性】 ★★★★★



【ご案内価格】

9,880,000円(税込)



## ヴィクトリア女王

在位：1837年6月20日 - 1901年1月22日

- ✦ 生没：1819年5月24日 - 1901年1月22日 (81歳没)
- ✦ イギリス・ハノーヴァー朝第6代目女王、初代インド女帝。
- ✦ 世界各地を植民地化・半植民地化して繁栄を極めた大英帝国を象徴する女王。
- ✦ 1837年に18歳で即位し、生涯で4男5女を授かった。
- ✦ 彼女の時代は産業革命による経済の発展の絶頂期を迎えた。
- ✦ そして繁栄を謳歌するとともに国王夫妻に象徴されるように、「家庭の平和」と英国美術の黄金期が絶頂を迎えた事から「エリザベス1世」「アン女王」と並び「英国は女王の時代に治世が栄える」とまで言われている。

## ゴチッククラウン銀貨

- ✦ 1847年、英国にてヴィクトリア女王の即位10周年を記念し鑄造された銀貨。
- ✦ デザインはかのウィリアム・ワイオンによるもので、肖像画周囲の文字がゴシック体で刻印されている事から「ゴチッククラウン銀貨」と名が付き世界で最も美しい銀貨として君臨している。
- ✦ 高鑑定にもなると1,000万円以上の相場価格となり、市場に出る度にコレクター、富裕層からの注目を集めている。
- ✦ (デザインは次項参照)



## 巨匠ウィリアム・ワイオン

- ✦ 1795年-1851年。19世紀英国を代表する彫刻家・メダリスト。
- ✦ 王立造幣局で活躍し、「ウナとライオン」や「ゴチッククラウン」など、貨幣史に燦然と輝く名作を生み出した。
- ✦ 写実性、気品、そして芸術性を兼ね備えたその作風は、近代貨幣芸術の最高峰と称される。



# ゴチッククラウン銀貨 裏面デザイン解説

■ 中央：十字に配置された  
4つの盾（各国の紋章）

上(12時) & 下(6時)：スリーライオン  
イングランドの紋章。現在もスポーツの  
代表ユニフォーム等で愛される  
伝統の金獅子。

左上：バラ  
(イングランド国花)

右上：アザミ  
(スコットランド国花)

左(9時)：ハーブ  
アイルランドの紋章。  
強い魔力を持つと  
信じられていた  
アイリッシュ  
ハーブ。

右(3時)：  
レッドライオン  
スコットランドの紋章。  
金地に赤い獅子が  
立ち上がる  
力強いデザイン。

左下：クローバー  
(アイルランド国花)

右下：バラ  
(イングランド国花)

■ 盾の間を彩る  
3つの国花

左上・右下：バラ（イングランド国花） ..... イングランドを象徴する優雅な花。  
左右の盾の間で華やかさを添える。

右上：アザミ（スコットランド国花） ..... スコットランドの厳しい自然に育つ、力強い花。

左下：クローバー（アイルランド国花） ..... アイルランドの緑の大地を象徴する、  
幸運のシンボル。

